

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-263549
 (43)Date of publication of application : 18.09.1992

(51)Int. Cl. H04M 1/27

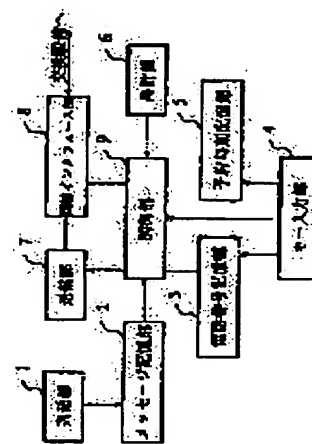
(21)Application number : 03-024272 (71)Applicant : NEC CORP
 (22)Date of filing : 19.02.1991 (72)Inventor : UENO KATSUYUKI

(54) MESSAGE TRANSMITTING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To transmit a message even without operating a telephone set at time desired for transmission by a caller by storing the message, the phone number of a callee and the desired time in the telephone set.

CONSTITUTION: When the designation code of automatic message transmission is inputted from a key input part 4, a control part 9 stores the phone number of the callee to be continuously inputted from the input part 4 in a phone number storage part 3. Next, the message inputted from a transmitter 1 is stored in a message storage part 2 and the operation of the user is completed. Afterwards, the control part 9 successively compares current time obtained from a timer part 6 with the time stored in a reserved time storage part 5 and it is investigated whether the both time is coincident or not. When the time is coincident, a call is originated through a line interface part 8 to the phone number of the callee stored in the storage part 3, and the message stored in the message storage part 2 is transmitted through a transmission part 7.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-263549

(43) 公開日 平成4年(1992)9月18日

(51) Int.Cl.⁵

H 0 4 M 1/27

識別記号

片内整理番号

F I

技術表示箇所

7190-5K

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平3-24272

(22) 出願日 平成3年(1991)2月19日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 上野 勝之

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式会社内

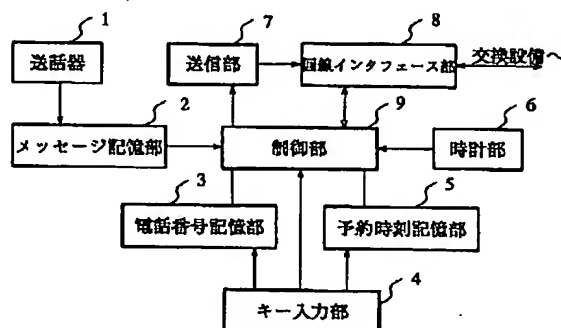
(74) 代理人 弁理士 内原 晋

(54) 【発明の名称】 メッセージ送信方式

(57) 【要約】

【構成】 キー入力部4からメッセージ自動送信処理の指定コードを入力することにより、電話番号記憶部3にキー入力部4から被呼者の電話番号を記憶させ、続いて予約時刻記憶部5に発呼時刻を記憶させ、またメッセージ記憶部2に送話器1からメッセージを記憶させる。制御部9は時計部6の時刻が予約時刻記憶部5に記憶されている時刻になると、回線インタフェース部8を介して電話番号記憶部3に記憶されている被呼者の電話番号への発呼を行ない、被呼者の応答をリングバックトーンの終了で検出すると、メッセージ記憶部2に記憶されているメッセージを送出する。

【効果】 発信者が不在でも予定時刻に予め作成したメッセージを被呼者に送信できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話機の送話器から入力したメッセージを記憶するメッセージ記憶手段と、キー入力部から入力した電話番号を記憶する電話番号記憶手段と、キー入力部から入力した時刻情報を記憶する時刻記憶手段と、現在時刻を出力する刻時手段と、この刻時手段から出力される時刻と前記時刻記憶手段に記憶された時刻とが一致したとき前記電話番号記憶手段に記憶した電話番号の相手へ発呼を行なう発呼手段と、リングバックトーンの終了を検出した後で前記メッセージ記憶手段に記憶したメッセージを回線に送出するメッセージ送信手段とを有することを特徴とするメッセージ送信方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はメッセージ送信方式、特に電話機から予約した時刻に特定の相手に予め作成したメッセージを送信するメッセージ送信方式に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、ある決まった時刻に電話を用いて特定の相手にメッセージを送る場合、必ずその時間に人が電話をかけなければならない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来のメッセージ送信方式では、その時間にその人が電話をかけられる場合は問題無いが、何らかの理由で電話をかけられない場合には、相手の電話機が留守番電話になっていれば、都合のよいときにメッセージを送っておくこともできるが、そうでない場合は、誰か他の人にメッセージの送信を依頼しなければならないという欠点がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明のメッセージ送信方式は、電話機の送話器から入力したメッセージを記憶するメッセージ記憶手段と、キー入力部から入力した電話番号を記憶する電話番号記憶手段と、キー入力部から入力した時刻情報を記憶する時刻記憶手段と、現在時刻を出力する刻時手段と、この刻時手段から出力される時刻と前記時刻記憶手段に記憶された時刻とが一致したとき前記電話番号記憶手段に記憶した電話番号の相手へ発呼を行なう発呼手段と、リングバックトーンの終了を検出した後で前記メッセージ記憶手段に記憶したメッセージを回線に送出するメッセージ送信手段とを有することにより構成される。

【0005】

【実施例】 次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0006】 図1は本発明の一実施例のブロック図で、電話機に組込まれた本発明の説明に必要な部分である送話器1、メッセージ記憶部2、電話番号記憶部3、キー入力部4、予約時刻部5、時計部6、送信部7、回線インタフェース部8および制御部9が示されている。

【0007】 送話器1は送信するメッセージをメッセージ記憶部2に記憶させる。キー入力部4はメッセージ自動送信を制御部9に伝えると共に、電話番号記憶部3に被呼者の電話番号を入力し、また予約時刻記憶部5に発呼する時刻を入力する。送信部7はメッセージ記憶部2に記憶されたメッセージを回線に送出する送出部で、回線インタフェース部8は制御部9の制御に従って、発呼のためのオフフック状態の作成、ダイヤルトーンの検出、電話番号の送出、リングバックトーンの検出、話中音の検出を行なう。

【0008】 図2は図1の実施例における制御部9のメッセージ自動送信処理の流れ図で、以下図2を参照して図1のメッセージ自動送信処理の動作の説明を進める。まずキー入力部4からメッセージ自動送信の指定コードを入力すると、制御部9は続いてキー入力部4から入力される被呼者の電話番号を電話番号記憶部3に記憶する（ステップ10）。次に続いてキー入力部4から入力される発呼時刻を予約時刻記憶部5に記憶する（ステップ11）。次いで送話器1から入力されるメッセージをメッセージ記憶部2に記憶させ（ステップ12）、利用者の操作を完了する。以後、制御部9は時計部6から得られる現在時刻と予約時刻記憶部5に記憶されている時刻との比較を随時行なって、両者が一致するかを調べ（ステップ13）、一致すれば回線インタフェース部8を介して電話番号記憶部3に記憶した被呼者の電話番号へ発呼し（ステップ14）、メッセージ記憶部2に記憶されているメッセージを送信部7を介して送出する（ステップ15）。

【0009】 図3は図2のステップ14および15の詳細な流れ図で、以下図3を参照して発呼処理およびメッセージ送信について説明する。制御部9は回線インタフェース部8に指示してオフフック状態にする（ステップ21）。次いで回線インタフェース部8が交換設備から送られるダイヤルトーンを検出すると（ステップ22）、制御部9は電話番号記憶部3に記憶されている被呼者の電話番号を読出して、回線インタフェース部8を介して交換設備に送出する（ステップ23）。次いで話中音が入力されるかを調べ（ステップ24）。話中音を検出されなければ、リングバックトーンを検出して、その終了を調べ（ステップ25）、終了を検出すれば既定の時間後に、メッセージ記憶部2に記憶されているメッセージ音声を回線インタフェース部8を介して交換設備に送出する（ステップ26）。次いで話中音による回線の切断、留守番電話からの伝言促進トーン、およびメッセージ音声の終了の何れが検出されるかを調べ（ステップ27）、メッセージ音声の終了を検出した場合には、メッセージ音声の送出回数が既定値を越えたかを調べ（ステップ28）、既定値に達しないときは送出回数を1回増加して（ステップ29）、ステップ26に戻る。なおステップ24で話中音を検出した場合には、オンフック状

3

態にして一定時間、例えば90秒経過してからステップ21に戻る(ステップ30)。またステップ24で話中が既定回数になったとき、およびステップ25でリングバックトーンが既定時間を越えても終了しないときは、メッセージ送信不可ランプを点灯して(ステップ31)、処理を終了する。さらにまたステップ27で伝言促進トーンが得られたときは、再度メッセージ音声を再生・送出して(ステップ32)、処理を終了する。さらにまたステップ27で回線切断を検出するか、ステップ28で送出回数が既定値になったかしたときは処理を終了する。

【0010】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、電話機にメッセージと被呼者の電話番号と送信したい時刻とを記憶させることにより、発呼者がその時刻に電話機を操作しなくても、メッセージを送信できるという効果がある。また被呼者の電話機に留守番電話装置がセットされ

10

ているかどうかに関係なく送信できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のブロック図である。

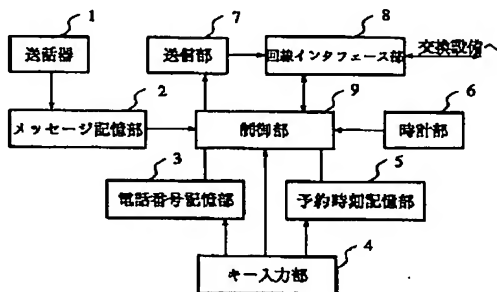
【図2】図1のメッセージ自動送信処理の流れ図である。

【図3】図2の流れ図の一部の詳細流れ図である。

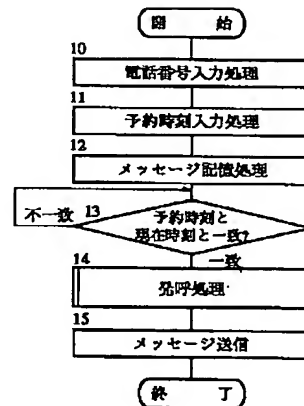
【符号の説明】

- 1 送話器
- 2 メッセージ記憶部
- 3 電話番号記憶部
- 4 キー入力部
- 5 予約時刻部
- 6 時計部
- 7 送信部
- 8 回線インタフェース部
- 9 制御部

【図1】



【図2】



【図3】

